

新庁舎に関する調査特別委員会の活動を報告します。

新庁舎に関する調査特別委員会 活動報告

議会では、町が進める新庁舎建設の計画について、全町的な視野に立って議論を重ね、継続的に調査研究を図るため、全議員（議長を除く）で構成する「新庁舎に関する調査特別委員会」を設置し、次のとおり調査活動を行っております。

【第10回（3月30日）】

（1）新庁舎概要・設計コンセプトの説明
北側敷地を取り込んだ庁舎計画、安全で効率的な構造計画、Z E B 庁舎達成のための環境整備、平面計画、1階、2階平面配置等の説明及び平成32年度までの工程を財務課から説明を受け、その説明に対する質疑を行い、その後、委員間討議を行った。

※議会ホームページに会議録を掲載しています。



庁舎建設基本設計その2の鳥瞰イメージ

新庁舎に関する調査特別委員会委員長
菊川 敬人

本町議会の「議会改革」を視察するため、
2月21日に徳島県三好郡東みよし町議会が来
町されました。
当日は議会改革等の流れを説明し、「議員
定数検討委員会」や「日曜議会」、「議会報告
会・意見交換会」など、議会全般の質問が数
多くありました。



徳島県三好郡東みよし町議会視察受入の様子

視察来町

議員研修会

未来拠点事業を学ぶ

2月3日に山北町立生涯学習センターで議員研修会が行われました（主催：足柄上郡町議会議長会）。
当日は2部構成となっており、第1部は小山町未来拠点課長遠藤正樹氏から「小山町未来拠点事業の取組みについて」、第2部では同町のまちづくり専門官溝口久氏から「小山町での新たなまちづくりの挑戦」をテーマとした講演を傾聴しました。



第1部遠藤氏の講演の様子

未来拠点事業を学ぶ

教育民生常任委員会所管事務調査報告（抜粋）

「開成町グリーンリサイクルセンター用地の活用について」

1. 調査の目的

開成町では、『環境に優しい町』資源循環型都市を基本方針とし、資源を大切に使う資源循環型社会の構築に向け「みどりの資源化事業」として、開成町グリーンリサイクルセンターの運営を行っている。企業から賃借している10,260m²の事業用地は、一部未使用となっている用地がある。この用地を効果的に活用することを目的として、現状分析をし、土地利用の可能性を検討するため調査研究を行うこととした。

2. 調査の内容

開成町グリーンリサイクルセンター用地活用について、環境防災課から3回に渡り資料提供を受け委員会への出席を求めて聞き取りを行い、委員間討議を行った。

開成町グリーンリサイクルセンターの図面と土地使用貸借契約書、土地貸借契約書を確認した。その中で新たな事業展開と利用については、

用地への構造物の設置に対する制約や出入り口の改修が必要なこと、また近隣地権者との調整などの課題が見つかった。

様々な課題がある中で効果的な用地活用の可能性について更に調査を進め、金井島ストック場の移設、災害時の資材や発生したごみの置き場、新たな受け入れごみの可能性などの検討を行った。同時に開成町グリーンリサイクルセンターの管理運営に関する基本協定書と剪定枝受入量及び運営経費の確認を行った。



開成町グリーンリサイクルセンター

～検討結果のまとめ～

開成町グリーンリサイクルセンターにおいて、事業拡大や新たな事業展開を行うには施設改修など、多額な投資が必要であり、許認可などの課題も多い。

町に意見！

- ・開成町グリーンリサイクルセンターの用地の活用策については、近隣地権者の理解を得た上で、災害時における資材及び災害廃棄物の仮置き場として利用されるなど、未使用用地の

また、現在の運営状況では収支的に厳しい状況であるが特に賃借料を支払っている用地については、未使用としておくべきではないと考える。

- 有効活用を図られたい。
- ・開成町グリーンリサイクルセンター運営の安定化を図るとともに、今後の「緑の資源化事業」のあり方を広域的な観点から検討されたい。

3. 県外行政視察

平成28年11月に廃棄物のリサイクルへの取り組みを先進的に行っている、富山県富山市の「エコタウン事業」を視察した。この事業は市内に約18ヶ所の「エコタウン産業団地」を設け、現在は7ヶ所のリサイクル施設で事業を行っている。この中の2ヶ所を視察した。

難処理繊維及び混合廃プラスチックリサイクル施設では、リサイクルが困難で従来焼却処分されていた廃棄物を原料として固形燃料を製造し、廃棄物の減量と温暖化対策に貢献している。また、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設では、食品廃棄物をバイオガス化技術でメタンを発酵させバイオガスにより発電し、電気エネルギー

として利用するというものである。
7つの事業所のなかには採算面において苦慮している事業者もあるとのことだった。環境面では地域住民の理解を得るために、近隣住民との調整は建設時から現在においても行っているとのことであった。



エコタウンでの視察の様子
教育民生常任委員長 佐々木 昇